

平成 21 年 6 月 23 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：平成 19 年～平成 20 年
 課題番号：18530119
 研究課題名（和文）：国連平和構築とミレニアム開発目標達成との関連性
 研究課題名（英文）：The Relations between UN Peace-building and the Millennium Development Goals
 研究代表者：石塚勝美

研究成果の概要：

現在のところ標記の研究課題の中でもカンボジアやとりわけ東ティモールに関する国連平和構築に関しては、下記の報告に示す通りに数多くの論文出版、論文報告、および図書の刊行に至っている。ミレニアム開発目標等の開発分野との関連に関しては、現在も研究分析中である。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 19 年度	500,000	150,000	650,000
平成 20 年度	500,000	150,000	650,000
総計	1,000,000	300,000	1,300,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：国際連合 平和構築 ミレニアム開発目標

1. 研究開始当初の背景

国連平和ミッションは、元来は国連 PKO とも呼ばれ、国連活動の中核の一つとして取り上げられている。現在は安全保障のみならず、開発、人権、民主化等の複合的な国連平和構築が主流となっている。一方で人間の安全保障の概念の重要性は国連ミレニアム開発目標の設定からも明らかである。よってこの両者、すなわち国連平和構築およびミレニアム開発目標との関連性が重要になってくるという考えがこの研究課題の選定の背景として存在する。

2. 研究の目的

国連平和構築と開発がどのように関わっていくのかについて調査していく。具体的には国際平和ミッションと 8 分野に分かれる国連ミレニアム開発目標のなかでも「貧困と飢餓」そして「開発」の 2 分野との関連性について焦点を当てていく。

3. 研究の方法

書物の購読（書籍、学術論文、国連公文書、新聞記事、新聞記事、雑誌等）、インタビュー（国連、政府高官、NGO）、および現地調査（東ティモール）

4. 研究成果

以下に示す通りに、雑誌論文 4 件、学会発表 4 件、図書刊行 3 件という内容であるが、2010 年 1 月に、Foundation Books より単著である *The History of Peace-building in East Timor* を刊行する予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 4 件）

Ishizuka K. "After the 2006 Crisis in Timor-Leste: The Issue of the Exit Strategy and Capacity-building in UN Peace Operations", *The Journal of Peace Studies*, Vol. 8, No. 2, 2007, pp. 335-386

Ishizuka K. and Lloyd S. "Japan's Development Assistance in Timor-Leste" 共栄大学研究論集 第6号、2008年3月 pp. 119-132

Ishizuka K. "Security Issues facing Peace-building in Afghanistan: Is a light-footprint approach a panacea?" 共栄大学研究論集 第6号、2008年3月 pp.133-154

Ishizuka K. "A Comparative Analysis on UN Peace-building" 共栄大学研修論集 第7号 2008年3月 pp. 195-222

〔学会発表〕(計4件)

"After the 2006 Crisis in Timor-Leste: The Issue of the Exit Strategy and Capacity-building in UN Peace Operations", 平成19年6月 アメリカ合衆国 ニューヨーク ACUNS の年次大会

「国連PKOと平和構築：国際社会における東ティモールへの対応」龍谷大学アフラシア平和開発研究センター3班 2008年第1回研究会 平成20年5月10日龍谷大学

"Is Peace-building in Timor-Leste Learning a Lesson from Cambodia?",

平成20年6月 ドイツ ボン ACUNS の年次大会

「カンボジア及び東ティモールの国連ミッションが与えた平和構築に関する教訓」平成20年10月 つくば国際センター 日本国際政治学会年次大会

〔図書〕(計3件)

石塚勝美『国連PKOと平和構築』創成社、2008年(単著)238ページ

Ishizuka K. "Japan and UN Peace Operations" in Hood C. (ed.) *Politics of Modern Japan* (London: Routledge, 2008) (共著)

共栄大学国際経営研究会編「国際経営経済用語辞典」(増補版)創成社、2008年(共著、石塚は国際開発関係の用語を担当)

〔産業財産権〕
出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕
公募研究費獲得：龍谷大学アフラシア平和開発センター「東ティモールの平和構築についての諸問題」(30万円)2008年4月から2009年3月まで

14. 研究組織

- (1)研究代表者
石塚勝美
- (2)研究分担者
石塚勝美のみ
- (3)連携研究者
なし